

# くすのき

Kusunoki

2025 WINTER

VOL.  
09



賀正

【紹介】

新年のご挨拶

診療のご案内

放射線科のご紹介

家屋調査について

Column

薬剤科コラム

医療講演のご案内

TAKE FREE

ご自由にお持ちください



2024年12月 日の出町自治会 餅つき大会にて

謹賀新年

あけましておめでとうございます  
徳洲会山内病院 院長の栗原雄司です



## 医療法人徳洲会 山内病院

院長 栗原 雄司

早いもので、山内病院の院長就任から2回目の新年を迎えました。院長に就任してこの2年間は、主に病院経営の安定化と職員教育に時間を費してきたためか、まだまだ院長就任時に掲げた目標に、残念ながらたどりついた感はなく、まだまだ道半ばと感じております。院長就任時に掲げた目標とは、山内病院を地域の患者さんたちや、近隣の医療機関、施設などから十分に信頼のおける病院にすることです。

具体的に、患者さんにとつて安心、安全、快適に医療を受けられる場所として山内病院を作り上げていくこと。近隣医療機関、施設からの信頼を得て、連携を強固にしていくこと。つまり、患者さん、近隣の医療機関、施設から頼りがいのある病院にすることができるよう、信頼された使命であると思っております。

本年も、医療の質の向上、患者さんへのサービス、接遇の向上、地域との連携強化、職員の働きやすい環境を作っていく事を常に意識し継続していくことを命題として励んでいきたいと思います。職員の皆さんも一緒に頑張りましょう。



# 診療のご案内



## 総合診療科

総合診療とは、プライマリ・ケアとも呼ばれております。

- ① 予防から治療、リハビリテーションまで**
- ② 全人的医療**
- ③ 一般的な健康問題を中心とした全科的医療**
- ④ 小児から老人まで**

これらを軸とした身近で総合的な医療が、総合診療科(プライマリ・ケア)の特徴です。

## 内科

### 内科

風邪、感染症全般、インフルエンザ、肺炎など内科疾患全般について診察・治療を行っています。

### 循環器内科

心臓や血管に関わる疾患を対象とし、高血圧、狭心症、不整脈、心筋梗塞などの治療を行う診療科です。

### 消化器内科

当院では消化器疾患の中で、特に胃腸・肛門疾患の診療・治療を行っています。胃腸科は食道から胃・十二指腸・大腸といった消化器疾患に、肛門科は文字通りおしりの病気、痔や肛門周囲の病気に対応しております。

### 糖尿病・内分泌内科

糖尿病、高血圧症、内分泌疾患を診療しています。

### 呼吸器内科

気管、気管支、肺に生じる疾患を対象とし、呼吸器に関連する症状の治療を専門的に行う診療科です。

### 腎臓内科

慢性腎臓病、糖尿病性腎症などの腎疾患、検尿異常、電解質異常などを対象に診察・治療を行っています。

### 神経内科

物忘れ、頭痛、手足のふるえ、痺れ、脱力（力が入らない）、歩きにくい、動作緩慢、めまい、ふらつき、眠れないといった症状を診る診療科です。

## リハビリテーション科

事故や怪我などの外傷、膝や腰が痛いなどの年齢とともに増える変性疾患などを治療する診療科で、主に首から足までが対象箇所です。リハビリテーションは、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が連携し、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられることの支援を第一に活動しています。

### 地域連携強化について ～地域医療連携室～

地域医療連携室では、2名のソーシャルワーカーが在籍し、入院前・入院中・退院後の相談に対応しています。

近隣の病院をはじめ、地域のクリニックや地域包括支援センター（いきいきサポートセンター）、居宅介護支援事業所のケアマネジャーとも連携し、入院のご相談も受け付けています。

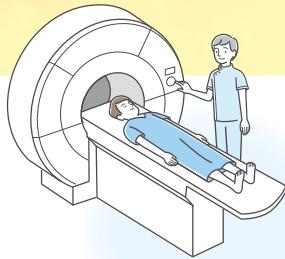
お困りごとがありましたら、  
ぜひ地域医療連携室へお声がけください。



### 当院で可能な検査

- CT
- MRI
- 内視鏡検査  
(上部・下部消化管)
- 超音波検査  
(心臓・頸動脈・腹部)
- ホルター心電図
- 肺機能検査 等

近隣のクリニックや診療所からの検査も承っております。



# 放射線科のご紹介

一般撮影装置、ポータブル撮影装置、X線 TV装置、CT装置、MRI装置を使用してX線画像診断業務に携わっております。

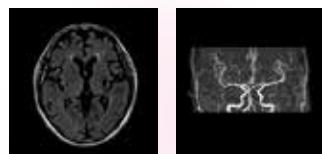
放射線科の業務の本質は、リスクマネージメントと考えています。具体的には、“画像はあるものは在る、ないものは無い”と客観的に捉えるため、医師の診断の確定や見逃しを防ぐことが出来ます。このような重要な役割を担っているので、私たち放射線技師は院外の勉強会や講習会に積極的に参加し、日々研鑽しています。



## MRI検査

MRIとは、磁力と電磁波を使用し、人体のあらゆる部分を撮像ができる画像診断装置です。当院では1.5テスラのPHILIPS社製のMRIを使用しております。全身のどの部位でも検査の対象になり、全ての診療科の診断にも寄与することができます。

機能として脂肪抑制、モーション補正、金属アーチファクト低減などの画像技術を活用し、再撮像などの検査時間延長など問題を解消しておりますので、狭いところが苦手な方や、不安や痛みで長時間じっとしていられない場合でも検査を完了させることができます。また、検査中はヘッドフォンをして音楽を聴きながら検査を受けていただいております。



【頭部】

T1強調画像やT2強調画像などさまざまな撮像方法と組み合わせて診断することにより、的確な診断をすることができます。



【胸部・腹部・骨盤腔】

腹部検査は息を止めて行いますが、呼吸に合わせて検査を行うこともできます。



【四肢】

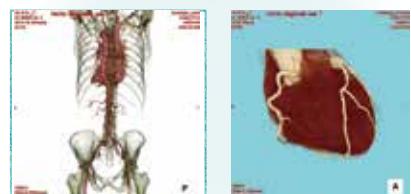
骨の情報に加えて靭帯や軟骨などを鮮明に描出することができ、炎症の範囲も把握できるのが、MRIの特徴です。

## CT検査

当院では、2023年5月に導入されたCanon社製の80列マルチスライスCTを使用しております。通常CTは横断面(体を輪切りにした画像)が知られていますが、加えて冠状断像、矢状断像、3D画像など画像の再構築が可能であり、心臓、肺、腹部、骨などの部位に対応しながら診断に寄与しています。その他の機能として、体内に金属が挿入されている場合に、画像の乱れの原因となってしまうノイズを抑えることができる技術(SEMARやAI)を使用することで、撮影時のX線被曝の量を少なくすることができるAIを使用したディープラーニング技術なども搭載され、患者さんの負担を軽減して検査を行っています。

他に造影剤という薬剤を使用した造影検査も行っており、主に心臓冠動脈検査、下肢動脈3D検査、腫瘍などを見つけるダイナミック撮影なども実施しています。この80列マルチスライスCTはより広範囲で高画質な画像が短時間で得られ、さらに画像処理をすることで、より細かく描出し精密な3D画像を作成できます。

造影剤を使用した3DCT画像 ▼



胸部大動脈から  
腹部大動脈まで

心臓

# 家屋調査の取り組みについて

入院患者さんが円滑にご自宅へ退院できるようさまざまな支援を行っております！



その1つが“家屋調査”です。看護師・リハビリテーション科のスタッフが実際に患者さんのご自宅に訪問し、患者さんが安心・安全に暮らせる環境かチェックします。また、必要に応じた箇所に福祉用具を設置したり、手すりの設置やリフォームなどの住宅改修の提案を行います。

今後も当院に入院された患者さんが、慣れ親しんだ地域で安心・安全な生活をし続けることができるよう、スタッフ一同支援していきたいと思います。



## Column

### 薬剤科コラム

シリーズ最終回は薬物治療についてです。糖尿病には“1型”と“2型”的2つのタイプがあります。

#### “1型”

膵臓にあるインスリンを作り出す細胞が破壊されてインスリンを作り出すことができません。そのため治療にはインスリン注射が不可欠となります。

#### “2型”

インスリン分泌が低下しているか、効き目が悪くなっている状態です。日本人はこのタイプが多く、遺伝的要素が強いこともわかっています。

糖尿病の飲み薬は大きく4つの種類に分けられます。①糖質の消化・吸収を遅らせる薬、②インスリンの働きをよくする薬、③インスリン分泌を促す薬、④尿と一緒に糖を排出させる薬、それぞれ働きや作用する場所が異なるため、糖尿病の薬物治療が必要になったらインスリンも含め、医師は患者さんの病状に応じてその方に最も適した薬を処方していきます。

**ここでクイズ！**

### 糖尿病クイズ！



#### 問題1 始めたら薬は一生飲まないとだめ？

- ①はい ②いいえ

#### 問題2 糖尿病薬の飲み方で間違っているのはどれ？

- ①飲み忘れた分を、次の服用時間に2回分まとめて飲んだ
- ②吐き気が強く食事がとれなかったが、食前の薬をいつも通り服用した
- ③食前の薬と食直前の薬をまとめて食前30分前に服用した

#### 問題3 糖尿病の合併症のうち正しいものは次のうちどれ？

- ①網膜症 ②腎症 ③神経障害 ④動脈硬化 ⑤潰瘍や壞疽の足病変

これまでシリーズを通してお伝えしてきたように、糖尿病の治療の基本は、食事療法と運動療法です。気をつけていても目標の血糖管理までもう一歩のときは合併症を防ぐ為にも、治療が必要か医師に相談しましょう。当院にもぜひご相談ください。

«答えは7ページ目にあります»

# 医療講演のご案内



地域の皆さまがいつまでも健康で豊かな生活をお過ごしいただけますよう、医療講演会を無料で開催しております。今回はこれまでに開催した医療講演の内容をご紹介させていただきます。当日参加してくださった方も、そうでない方も、今後ぜひご参加いただけると幸いです。

## ■講演①

### インフルエンザを予防しよう！

演者：看護師長

#### インフルエンザとは？

インフルエンザとは、インフルエンザウイルスによって引き起こされる呼吸器感染症です。普通のかぜとは異なり、突然の38℃以上の「高熱」や、関節痛、筋肉痛、頭痛などの他、全身倦怠感、食欲不振などの「全身症状」が強く現れるのが特徴です。

感染経路は飛沫感染、接触感染、空気感染と感染の様式がさまざまあります。その中でも、くしゃみや咳でウイルスが広がる飛沫感染について、参加された方に実際の距離を体感していただきました。

くしゃみや咳でウイルスが1~2m程度が広がると言われています。人から人へのウイルスの感染力の強さに、参加された方も驚きを隠せない様子でした。



#### インフルエンザから身を守るためにには？

インフルエンザに限らず、感染症のような病気から身を守るためにには“手洗い”“うがい”“咳エチケット”が大切です。しかし、それぞれ正しい方法で行わなければ、感染予防の効果がなくなってしまいます。本講演では、手洗いについて、手洗いチェック（洗い残しが確認できる専用機器）を用いて、実際にどの部位に洗い残しが多いのか確認しました。石鹼を使用して手洗いをしても、特に手の甲や指先に汚れが残りやすいことが分かり、より丁寧な手洗いを心がける必要があることを感じていただきました。



## 講演②

## 転ばぬ先の知恵「自宅でできる転倒対策」

演者：理学療法士

## なぜ転倒予防が大切な?

皆さん「2025年問題」をご存じでしょうか?「2025年問題」とは、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり、医療や介護などの社会保障費の増大が懸念される問題を言います。一度転倒してしまうと、転倒への恐怖感により外出頻度が減少⇒身体活動量の減少⇒筋力やバランス能力などの身体機能の低下⇒再び転倒⇒要介護状態、といった負の循環に陥ってしまうため、近年は転倒予防が注目されています。

## どんな人が転びやすいの?

右表の質問項目に答えることでおおよその転倒リスクを把握できます。各質問で「はい」と答えた総点数が「6点」以上の方は、そうでない方より転倒リスクが3.9倍高いと言われています。

質問項目	はい	いいえ
過去1年間に転んだことがある	5点	0点
歩く速度が遅くなったと思う	2点	0点
杖を使っている	2点	0点
背中が丸くなってきた	2点	0点
毎日お薬を5種類以上飲んでいる	2点	0点

## 自宅でできる転倒対策にはなにがあるの?

## ①外的要因(住居や道路などご自身を取り巻く環境)を整える

転倒は“つまづき”“すべり”“踏み外し”が全体の原因の7割を占めます。“ぬれている所”“階段・段差”“片づけていない所”は転びやすいので、環境を整えましょう。⇒3つの文字を取って、“ぬかづけ”と覚えましょう。

## ②内的要因(身体機能・認知機能などご自身が抱える要因)を改善する

筋力低下がある方は、そうでない方と比較して4.4倍転倒しやすいと言われています。本講演では、理学療法士が簡単に行えるトレーニングを参加者の方々と行いました。

## 【もも上げ運動】



身体が後ろに傾かないように

## 【かかと上げ】



つま先を付けたまま  
かかとを上げ下げ

## 【コグニサイズ】

## 運動課題

- 足踏み
- 膝を交互に伸ばす
- 足を交互に外側へ開く



## 認知課題

- 数を数えながら  
3の倍数に手を叩く
- 5の倍数に手を叩く
- 3・5の倍数に手を叩く
- 1人でしりとり
- 野菜の名前を挙げる

運動課題と認知課題を1つずつ選び同時に行います

※少し疲れた・難しいと感じる負荷量にすることがポイントです

医療講演スケジュールは、院内ポスターまたはホームページで随時お知らせします。  
皆さまのご参加をお待ちしております。

## 3ページ目 薬剤科コラム クイズの答え

## 問題1: 答え②

食事療法・運動療法をしっかり行ていれば、薬を減らしたり中止できる場合もあります。

## 問題2: 答え①～③

薬によって服用のタイミングは様々です。服用するタイミングが異なるものが多くあることも、糖尿病治療薬の特徴です。飲み方を間違えれば期待した効果が得られなかったり、血糖が下がりすぎる(低血糖)リスクが高くなります。また感染症にかかった時な

ど、いつも通り食事がとれない時(シックデイ)は、薬の量の調整が必要な場合があります。そのような時にどうしたら良いか、事前に主治医に相談しておくと安心です。

## 問題3: 答え①～⑤

糖尿病の初期は、はっきりとした自覚症状がありません。高血糖状態が続くと、喉が渴く・トイレが近い・寝せてくる、などの症状がでてきます。さらに長年に渡ると少しづつ血管や神経に悪い影響を及ぼして①～⑤のような症状がでてきます。



## 外来のご案内

- 午前 受付時間 8:30～11:30 (診療時間 9:00～)  
午後 受付時間 13:00～16:30 (診療時間13:30～)  
夕方診療 月～金曜 16:30～18:30 (診療時間17:00～)

休診

土曜午後・日曜・祝日・  
年末年始

## 診療科のご案内

内科／総合診療科／消化器内科／胃腸内科／肛門内科／循環器内科／呼吸器内科／腎臓内科  
糖尿病・内分泌内科／神経内科／リハビリテーション科

## 人間ドック・各種健診のご案内

当健康管理・健診センターでは、健診8団体合同マニュアル「健康診断実施時における新型コロナウイルス感染症対策について」を遵守し、感染防止対策を引き続き徹底し健康診断を実施しております。

随時受付中！



## Access Map

- 電車・徒歩で来院される方  
藤沢駅南口からダイヤモンドビルの横を通って徒歩3分です。
- お車で来院される方  
ドン・キホーテ交差点から入り、直進してT字路を右折、正面玄関脇をご利用ください。

## 近隣駐車場について

外来診療、健康診断、お見舞いなどで、  
当院をご利用の方に  
近隣の駐車場のサービス券  
をお渡しします。



ご利用可能駐車場

- ① シンコウパーク南藤沢 ④ ショウワパーク南藤沢  
② シンコウパーク南藤沢第二 ⑤ ショウワパーク南藤沢2  
③ NOC南藤沢

\*ご利用可能な時間帯 平日8:00～19:00／土曜日8:00～13:00  
\*サービス内容 最大2時間分までの駐車サービス券をお渡しします。  
\*会計の際に、受付に駐車券もしくは駐車票・駐車証明書をご提示ください。  
\*公共交通機関でのご来院にご協力をお願いいたします。



医療法人徳洲会 山内病院  
〒251-0055 神奈川県藤沢市南藤沢4-6

TEL.0466-25-2216  
<https://www.yamauchi.or.jp/>

instagram

